

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月12日
【四半期会計期間】	第68期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	伯東株式会社
【英訳名】	Hakuto Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉本 龍三郎
【本店の所在の場所】	東京都新宿区新宿一丁目1番13号
【電話番号】	03(3225)8910(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 海老原 憲
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区新宿一丁目1番13号
【電話番号】	03(3225)8910(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 海老原 憲
【縦覧に供する場所】	伯東株式会社関西支店 （大阪府大阪市淀川区宮原四丁目1番6号 アクロス新大阪） 伯東株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区錦一丁目16番20号 グリーンビルディング） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第2四半期連結 累計期間	第68期 第2四半期連結 累計期間	第67期
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 9月30日	自2019年 4月1日 至2019年 9月30日	自2018年 4月1日 至2019年 3月31日
売上高 (百万円)	68,743	72,269	140,123
経常利益 (百万円)	2,000	1,574	3,580
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	1,346	1,105	2,473
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,732	248	2,430
純資産額 (百万円)	54,759	54,267	54,635
総資産額 (百万円)	86,374	94,697	87,826
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	64.51	53.78	118.63
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	63.4	57.3	62.2
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,426	461	1,198
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	282	308	152
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,986	2,016	699
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	8,904	8,776	7,608

回次	第67期 第2四半期連結 会計期間	第68期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年 7月1日 至2018年 9月30日	自2019年 7月1日 至2019年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	24.46	29.81

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績等の状況の概要

##### 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結会計期間の財政状態及び経営成績は次のとおりであります。

##### a. 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末と比較して73億20百万円(10.2%)増加し、792億21百万円となりました。これは主に車載用途ICの仕入増加により、商品及び製品が49億3百万円増加したこと、スマートフォン用電子部品の販売伸長により、受取手形及び売掛金が11億79百万円増加したこと、並びに現金及び預金が11億67百万円増加したためであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して4億49百万円(2.8%)減少し、154億75百万円となりました。これは主に第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社においてIFRS16号「リース」を適用したことにより、有形固定資産の「その他」が3億8百万円増加(IFRS16号適用の影響による増加額は2億71百万円)した一方で、保有株式の時価下落により投資有価証券が7億6百万円減少したためであります。

以上のことから、当第2四半期連結会計期間末における資産の部全体としては、前連結会計年度末と比較して68億70百万円(7.8%)増加し、946億97百万円となりました。

負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末と比較して32億60百万円(10.6%)増加し、339億11百万円となりました。これは主に短期借入金が13億5百万円減少した一方で、電子部品の仕入増加により支払手形及び買掛金が48億40百万円増加したためであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して39億78百万円(156.6%)増加し、65億18百万円となりました。これは主に運転資本の増加に伴い長期借入金が40億2百万円増加したためであります。

以上のことから、当第2四半期連結会計期間末における負債の部全体としては、前連結会計年度末と比較して72億38百万円(21.8%)増加し、404億29百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して3億67百万円(0.7%)減少し、542億67百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が5億9百万円、為替換算調整勘定が3億70百万円それぞれ減少したためであります。

##### b. 経営成績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が雇用・消費活動が堅調さを保つ中、米中貿易摩擦の長期化による中国経済の減退や海外経済の動向により、景気の先行きに対しての不透明感が強まっております。

我が国経済は、中国経済の減速の影響等により特にアジア向け輸出や、設備投資が弱含み、良好な雇用環境はあるものの、国内景気は低い伸びが継続しております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、米中貿易摩擦の長期化により影響範囲が徐々に拡大、深刻化する懸念が強まっております。

このような状況の下、当社グループの電子部品事業においては、光通信関連向け、及び車載向け等の半導体デバイスの需要が好調に推移し、電子部品事業全体で前年同四半期より増収となりました。

電子・電気機器事業においては、前年同四半期に旺盛であったスマートフォン関連向けのプリント基板製造用露光装置に対する設備投資の減退及び計画延伸等により販売が伸び悩み、電子・電気機器事業全体で前年同四半期より減収となりました。

工業薬品事業においては、石油・石油化学産業向け重合禁止剤及び活性炭の需要は堅調に推移し、また、化粧品基剤の需要増により、前年同四半期より増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は722億69百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

損益面につきましては、当第2四半期連結累計期間の連結売上総利益は91億34百万円(同2.2%減)となり、連結販売費及び一般管理費として74億26百万円(同0.6%増)を計上した結果、連結営業利益は17億8百万円(同12.7%減)、連結経常利益は15億74百万円(同21.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億5百万円(同17.9%減)となりました。

また、1株当たり四半期純利益は53円78銭となり、前年同四半期より10円73銭減少いたしました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

[ 電子部品事業 ]

電子部品分野では、主に中国市場向けのエアコン等の白物家電の在庫調整により、モーター関連半導体デバイスの需要が低調となりましたが、新通信規格である5G関連、IoTなどの投資加速により、通信関連電子部品の販売が伸びました。車載関連用途製品の需要は底堅く推移し、Windows7のサポート終了に伴う買換え需要も継続しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は568億71百万円（前年同期比8.3%増）となりましたが、為替変動及び利益率の高い分野の販売減少により、セグメント利益は6億42百万円（同24.7%減）となりました。

[ 電子・電気機器事業 ]

電子・電気機器分野では、スマートフォン製造関連向けプリント基板露光装置及びICパッケージ製造関連向けステッパー装置への需要が設備投資計画の延伸等により伸び悩みました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は97億77百万円（前年同期比10.3%減）、セグメント利益は5億38百万円（同15.7%減）となりました。

[ 工業薬品事業 ]

工業薬品分野では、紙・パルプ分野ではデジタル媒体の普及による世界的な抄紙需要減少傾向を受けて、製紙用薬品の販売が伸び悩みましたが、石油化学分野では底堅い消費を反映し、重合禁止剤、活性炭等の販売が堅調に推移しました。化粧品分野においても化粧品基剤バイオポリマーの販売が伸びました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は56億11百万円（前年同期比5.6%増）となりましたが、人件費の上昇に伴う製造コストや輸送コストの増加等により、セグメント利益は4億66百万円（同3.2%減）となりました。

[ その他の事業 ]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第2四半期連結累計期間の売上高は3億50百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は12百万円（同26.5%減）となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは4億61百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは3億8百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは20億16百万円の収入となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して11億67百万円増加し、当第2四半期末は87億76百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因につきましては、以下のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

車載向け電子部品事業の拡大に伴い、BCP(事業継続計画)の一環として当社グループが保有するたな卸資産は年々増加傾向にあります。売上債権の流動化等によってキャッシュ・コンバージョン・サイクルの改善に努めております。税金等調整前四半期純利益15億78百万円、仕入債務の増加額55億50百万円等の収入要因がありましたが、たな卸資産の増加額50億51百万円、売上債権の増加額12億81百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは4億61百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には仕入債務の増加等により14億26百万円の収入となっております。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

工業薬品事業における製造設備や研究開発設備等の有形固定資産の取得による支出1億26百万円、営業権等の無形固定資産の取得による支出1億34百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは3億8百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には有形固定資産の取得による支出等により、2億82百万円の支出となっております。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

事業拡大に伴う資金需要の増加に対して、主に有利子負債による調達を行っております。当第2四半期連結累計期間において、長期借入により新規で55億円を調達した一方で、短期借入金の返済により22億51百万円を支出(純)しております。また配当金の支払額6億16百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは20億16百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には、短期借入金の返済による支出(純)等により、19億86百万円の支出となっております。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、53百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	54,000,000
計	54,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	24,137,213	24,137,213	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	24,137,213	24,137,213	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	24,137,213	-	8,100	-	2,532

(5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
公益財団法人高山国際教育財団	東京都新宿区新宿二丁目9番23号	4,226.2	20.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海一丁目8番11号	2,041.3	9.93
高山 一郎	WOODSIDE CA.94062 U.S.A	1,058.9	5.15
高山 健	BELLEVUE,WA.98004,U.S.A.	1,058.9	5.15
高山 龍太郎	MENLO PARK, CA.94025 U.S.A.	1,058.9	5.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町二丁目11番3号	837.9	4.08
伯東従業員持株会	東京都新宿区新宿一丁目1番13号	407.5	1.98
RE FUND 107-CLIENT AC (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	MINISTRIES COMPLEX ALMURQAB AREA KUWAIT KW 13001 (東京都新宿区新宿六丁目27番30号)	383.9	1.87
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	PALISADES WEST 6300, BEE CAVE ROAD BUILDING ONE AUSTIN TX 78746 U.S.A. (東京都新宿区新宿六丁目27番30号)	383.3	1.86
J. P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	EUROPEAN BANK AND BUSINESS CENTER 6, ROUTE DE TREVES, L-2633 SENNINGERBERG, LUXEMBOURG (東京都港区港南二丁目15番1号 品川 インターシティA棟)	340.9	1.66
計	-	11,797.7	57.40

(注) 1. 所有株式数は、100株未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 2,041.3千株

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 837.9千株

3. 上記のほか自己株式3,583,006株を保有しておりますが、当該自己株式には議決権がないため、上記の表から除外しております。

自己株式 所有株式数 3,583,006株

発行済株式総数に対する所有株式数の割合 14.84%

(6)【議決権の状況】  
 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,583,000 (相互保有株式) 普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,529,700	205,297	-
単元未満株式	普通株式 24,413	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	24,137,213	-	-
総株主の議決権	-	205,297	-

(注)「完全議決権株式(その他)」及び「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義の株式がそれぞれ1,500株(議決権の数15個)及び6株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 伯東株式会社	東京都新宿区新宿一丁目 1番13号	3,583,000	-	3,583,000	14.84
(相互保有株式) 株式会社エーエス エー・システムズ	福岡県北九州市戸畑区中 原新町3-3	100	-	100	0.00
計	-	3,583,100	-	3,583,100	14.84

2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,608	8,776
受取手形及び売掛金	1 31,151	32,331
電子記録債権	5,981	5,701
商品及び製品	24,820	29,724
仕掛品	32	39
原材料及び貯蔵品	550	544
その他	1,784	2,194
貸倒引当金	29	91
流動資産合計	71,901	79,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	980	951
機械及び装置(純額)	2,069	1,950
土地	3,069	3,069
その他(純額)	519	827
有形固定資産合計	6,638	6,799
無形固定資産	325	390
投資その他の資産		
投資有価証券	8,446	7,740
繰延税金資産	142	167
その他	401	407
貸倒引当金	30	30
投資その他の資産合計	8,960	8,285
固定資産合計	15,924	15,475
資産合計	87,826	94,697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,881	20,722
電子記録債務	2,742	3,124
短期借入金	7,733	6,427
リース債務	19	146
未払法人税等	896	465
賞与引当金	1,024	846
製品保証引当金	7	5
その他	2,346	2,173
流動負債合計	30,650	33,911
固定負債		
長期借入金	589	4,592
リース債務	45	197
繰延税金負債	1,489	1,325
役員退職慰労引当金	14	11
退職給付に係る負債	384	374
その他	16	16
固定負債合計	2,540	6,518
負債合計	33,190	40,429
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,289
利益剰余金	40,460	40,949
自己株式	5,876	5,877
株主資本合計	49,973	50,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,028	3,518
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	942	572
退職給付に係る調整累計額	307	286
その他の包括利益累計額合計	4,661	3,805
純資産合計	54,635	54,267
負債純資産合計	87,826	94,697

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	68,743	72,269
売上原価	59,406	63,134
売上総利益	9,337	9,134
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,355	2,357
賞与引当金繰入額	817	771
退職給付費用	247	219
その他	3,958	4,078
販売費及び一般管理費合計	7,379	7,426
営業利益	1,957	1,708
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	110	119
持分法による投資利益	14	-
その他	65	63
営業外収益合計	195	186
営業外費用		
支払利息	24	24
売上債権売却損	44	47
為替差損	74	230
クレーム処理費	3	-
持分法による投資損失	-	8
その他	4	9
営業外費用合計	152	319
経常利益	2,000	1,574
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	34	-
その他	4	4
特別利益合計	40	4
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
倉庫移転費用	131	-
その他	0	0
特別損失合計	33	1
税金等調整前四半期純利益	2,007	1,578
法人税等	660	472
四半期純利益	1,346	1,105
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,346	1,105

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,346	1,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	510
繰延ヘッジ損益	39	1
為替換算調整勘定	367	370
退職給付に係る調整額	35	21
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	385	856
四半期包括利益	1,732	248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,732	248

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,007	1,578
減価償却費	341	395
賞与引当金の増減額(は減少)	1	173
受取利息及び受取配当金	114	123
支払利息	24	24
持分法による投資損益(は益)	14	8
投資有価証券売却損益(は益)	34	-
固定資産除売却損益(は益)	17	1
未払消費税等の増減額(は減少)	15	5
売上債権の増減額(は増加)	200	1,281
たな卸資産の増減額(は増加)	823	5,051
仕入債務の増減額(は減少)	711	5,550
その他	72	650
小計	1,829	282
利息及び配当金の受取額	127	135
利息の支払額	25	23
法人税等の支払額	505	855
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,426	461
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	188	126
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	2	134
投資有価証券の取得による支出	117	37
投資有価証券の売却による収入	41	-
その他	19	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	282	308
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	31,005	47,449
短期借入金の返済による支出	31,920	49,700
リース債務の返済による支出	9	64
長期借入れによる収入	-	5,500
長期借入金の返済による支出	537	551
自己株式の増減額(は増加)	18	0
配当金の支払額	542	616
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,986	2,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	129	79
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	713	1,167
現金及び現金同等物の期首残高	9,245	7,608
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	371	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,8904	1,8,776

## 【注記事項】

## (会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社においてIFRS16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他」が271百万円、流動負債の「リース債務」が125百万円、固定負債の「リース債務」が149百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (四半期連結貸借対照表関係)

## 1. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	72百万円	- 百万円
支払手形	17	-
電子記録債務	695	-

## (四半期連結損益計算書関係)

1. 倉庫移転費用は当社の連結子会社であるHakuto Enterprises Ltd. の倉庫移転の費用であり、その内訳は以下の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
固定資産除却損	17百万円	- 百万円
引越費用等	13	-
	31	-

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	8,904百万円	8,776百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	8,904	8,776

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月15日 取締役会	普通株式	543	26.00	2018年3月31日	2018年6月6日	利益剰余金

(注) 1. 2018年5月15日取締役会の決議による配当金の総額には、従業員持株E S O P信託が所有する当社株式に  
 対する配当金0百万円が含まれております。

2. 2018年5月15日取締役会の決議による1株当たりの配当額の内訳は、普通配当20.00円、特別配当6.00円  
 であります。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計  
 期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月29日 取締役会	普通株式	417	20.00	2018年9月30日	2018年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月15日 取締役会	普通株式	616	30.00	2019年3月31日	2019年6月5日	利益剰余金

(注) 2019年5月15日取締役会の決議による1株当たりの配当額の内訳は、普通配当20.00円、記念配当10.00円  
 であります。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計  
 期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月31日 取締役会	普通株式	616	30.00	2019年9月30日	2019年12月5日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	52,523	10,899	5,312	345	69,080
セグメント利益	852	639	481	17	1,991

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	56,871	9,777	5,611	350	72,611
セグメント利益	642	538	466	12	1,660

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
報告セグメント計	69,080	72,611
セグメント間取引消去	336	342
四半期連結財務諸表の売上高	68,743	72,269

(単位:百万円)

利益	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
報告セグメント計	1,991	1,660
のれんの償却額	5	5
その他の調整額	28	53
四半期連結財務諸表の営業利益	1,957	1,708

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)  
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	64円51銭	53円78銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	1,346	1,105
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	1,346	1,105
普通株式の期中平均株式数(株)	20,877,848	20,554,210

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 1株当たり四半期純利益金額の算定において、従業員持株E S O P信託が所有する当社株式を自己株式として処理していたことから、期中平均株式数から当該株式数を控除しておりました。なお、前第2四半期連結累計期間(2018年9月30日)において信託が所有する期中平均株式数は7,486株であります。当第2四半期連結累計期間(2019年9月30日)において信託が所有する期中平均株式数はありません。

(重要な後発事象)  
 該当事項はありません。

## 2【その他】

### (1)決算日後の状況

特記事項はありません。

(2)2019年10月31日開催の取締役会において、2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・616百万円
- (ロ) 一株当たりの金額・・・・・・・・・・30円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・2019年12月5日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月12日

伯東株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 宮木 直哉 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 貝塚 真聡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伯東株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伯東株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。